



たくさんのことに興味を持ち 自分の道を見つけて欲しい



脇山先生は、音楽教師としてはもちろん、教会のオルガニストとしても活躍なさっています。同じ音楽の世界に進みたいと望んでいる生徒に慕われ、憧れの存在である先生は、これまで何を思い、何を経験されてきたのでしょうか。

金城学院高等学校
脇山 陽子 教諭

- 東京芸術大学オルガン専攻卒業
- ドイツヴェストファーレン州立教会音楽学校修了
- ドイツA級教会音楽家（オルガン・ピアノ）修得
- 帰国後、金城学院高等学校音楽教諭に着任
- 名古屋中央教会オルガニスト
愛知県芸術劇場オルガン管理員

音楽、そしてオルガンとの 出会いを教えてください

はじめはピアノでした。母がピアノ教室の先生をしていたので、何歳から始めたとかそういった印象はなくて、気が付いた時にはもう弾いていましたね。オルガンに関しては、祖父母と母がクリスチャンで、母が40年近く教会のオルガニストをしていたのです。ですから、子どものころは母が教会でオルガンを弾いている横によく座って聞いていました。オルガンといっても小さな教会でしたから、パイプオルガンではなくて、足ふみ式のリードオルガンでしたけれど、それで、なんとなくですが、私も教会で弾けたらいいなと思っていたんです。

オルガンの道に進もうと 思ったきっかけは

高校は普通科に通いました。他に好きな教科もあったし、音楽科の高

校に行かなくても音大には行けると
思って。ピアノからオルガンに気
持ちが向いたのは、
東京芸大の募集要項
を見た高校2年生の
時です。募集要項には、
オルガン科3名募集
と書いてあって、そ
こでオルガンをやろ
うと思ったんです。

オルガンというのは、
パイプオルガンのこ
となのですが、当時
は非常にめずらしい
ものだったので、そ
の時はパイプオルガ
ンをさわったことも、
見たこともありませ
んでした。オルガン
の教師もいませんから、
受験のために週に一
度東京芸大の先生に
習いに行って、自宅
での練習は電子楽器
でしていました。電

子楽器もめずらしいもので、東海地
方では初めて自宅に入れました。





ドイツ留学時代の話 聞かせてください

大学の3年生くらいになると、大半の友だちが留学を考えて、語学勉強を始めていました。私も東京にあるゲーテ協会というところで、ドイツ語の勉強をしました。一切日本語はなしで、ただひたすら聞き取りに必死でした。そこでドイツ語の語学証明書をとりました。ドイツでは、4年生の時にオルガンの公開レッスンをしていただいた、シェーンステット教授のおかげもあって、ヴェストファーレン州立教会音楽学校に全額奨学金で通わせていただけたんです。

学校は全寮制でした。ヴェストファーレン聖歌隊という聖歌隊にも入り、声楽のレッスンから、指揮法まで様々な授業を取りました。聖歌隊での活動はとても思い出に残っています。授業の一環で演奏旅行にあちこち行きましたよ。フェスティバルや教会、ラジオ録音なんかもありました。

音楽漬けだったという印象はないですが、教会音楽についてはたくさん勉強しましたね。その甲斐あってか、A級教会音楽家という資格を取得できました。ドイツに行くとすぐにオルガンの先生が私に教会を紹介してくださり、田舎にある、本当に小さな教会でしたが、ドイツにいる

間ずっと専属のオルガニストをやらせていただきました。教会の方たちとも仲良くなれて、毎週日曜日が楽しみでした。

先生にとって音楽の道とは

小さな頃からずっとピアノという音楽の道に携わってきて、高校で普

通科を選んだことが、音楽の道に進まなくても他の道もあったということも確認できて、逆に自分を見直せたという感じですね。自分の意志でやりたいという気持ちを持ってたんです。今でも、教会でオルガンを指導したり、自分がオルガンを演奏していただけること、関わっていることはとても幸せですし、ハッキリと自分で選んだ道だと感じています。これからもひとつひとつの演奏会をじっくりとこなして、いろんな曲にチャレンジしていきたいですね。

最後に生徒たちへの想いを 聞かせてください

心のやさしい、気のいい子たちがたくさんいて、そういった生徒たちに助けられてこれまで来られたと感じています。彼女たちに望みたいことはひとつだけです。今現在の何でもチャレンジできる時に、今の状況に満足するのではなく、たくさんのことに興味を持って、自分のやりたいことを見つけて、自分の決めた道に突き進んで欲しいと思います。

脇山先生はこんな人



音楽演習Iクラスのみなさん

脇山先生は「花」のような先生だと思います。花びらがたくさんあって、ピンクか黄色の花。いつもはとてもやさしくてほんわかした感じでも、オルガンを弾き始めると別人のように格好良くステキです。オルガンを教えてもらう時も、弾き方や指の使い方のコツなど、わかりやすく丁寧に教えてくださいます。オルガンはとても

難しいけれど、いつか先生みたいに弾けるようになりたいです。

オルガンのこと、音楽史、大学のこと、留学のこと。先生の話はとてもおもしろくて、先生のおかげで今までよりずっと、音楽もオルガンも大好きになりました。どこの学校の友だちにも誇れる、自慢の先生です。